

令和3年度使途事業の概要について

令和3年度森林環境税活用事業計画一覧表

| 区 分 | | R3 |
|------------|---------------------|-------------|
| 税 収 見 込 額 | (a) | 308,560,000 |
| 徴 税 費 用 | (b) | 14,020,000 |
| 運 用 利 子 | (c) | 0 |
| 前年度までの基金残高 | (d) | 125,020,677 |
| 基金執行可能額 | (f)=(a)-(b)+(c)+(d) | 419,560,677 |

| 区 分 | 事業概要 | 事業費 | 税充当額 |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|
| I 県民の理解と参画による森林づくり | | 85,631,000 | 82,795,000 |
| 1. 「水と緑の森林づくり」県民総参加強化事業 | | 59,469,000 | 59,469,000 |
| ① 森林ボランティア団体等支援事業 | | 48,481,000 | 48,481,000 |
| a 森林づくり活動支援事業 | 森林ボランティア団体が行う森林づくり活動の支援 | 13,572,000 | 13,572,000 |
| b 森林づくり植樹支援事業 | 県民の植樹活動に要する苗木の提供 | 25,324,000 | 25,324,000 |
| c 「みやざき森づくりコミッション」活動強化事業 | 森林づくり活動の相談窓口設置や企業等による森林づくり活動の支援 | 9,585,000 | 9,585,000 |
| ② 森林づくり活動普及啓発事業 | 森林づくりに関するイベント開催や県森林環境税の普及啓発 | 10,988,000 | 10,988,000 |
| 2. 「山会議」で循環型林業推進事業 | 森林・林業・木材等の研修会の開催 | 2,205,000 | 980,000 |
| 3. 九州自然歩道魅力ステップアップ事業 | 九州自然歩道沿線の地域住民等による自然体験プログラムの促進、利用環境の整備 | 8,000,000 | 8,000,000 |
| 4. みやざきの自然公園満喫プロジェクト推進事業 | 県内の自然公園が県民等にとって魅力的な場として認識される取組を推進し、誘客を促進 | 4,511,000 | 2,900,000 |
| 5. 「みやざきの森林」を活かしたワーケーション推進事業 | 森林空間を活用したワーケーションを推進するため、体験プログラムの開発や体験ツアーに係る経費等を支援 | 11,446,000 | 11,446,000 |
| II 多面的機能を発揮する豊かな森林づくり | | 363,950,000 | 300,788,000 |
| 1. 水を貯え、災害に強い森林づくり事業 | 水源地等の上流域で放置された森林を対象とした広葉樹等の植栽、裸地化による水土保全機能の低下を防止するための伐採後の速やかな植栽、再造林に関する地域意見交換会の開催等 | 164,354,000 | 164,354,000 |
| 2. 荒廃溪流等流木流出防止対策事業 | 溪流沿い等の不安定な立木の伐採・撤去及び溪流等に流出した流木の集積・撤去 | 30,000,000 | 30,000,000 |
| 3. 森林の公益的機能高度発揮推進事業 | 集落上流域の水源地域や山地災害危険地区周辺の森林を対象に保安林指定に向けた調査を実施 | 9,083,000 | 9,083,000 |
| 4. 生物多様性地域活動等推進事業 | 生態系の保護・保全・回復活動を行う地域の支援 | 5,804,000 | 3,940,000 |
| 5. 宮崎県版レッドデータブック改訂事業 | 2010年に発行した「レッドデータブック」の改訂 | 9,866,000 | 6,796,000 |
| 6. 名木等保全支援事業 | 名木等の保全対策の実施 | 2,236,000 | 2,236,000 |
| 7. 被害要因除去事業 | 森林以外にある松くい虫被害木の除去 | 12,055,000 | 12,055,000 |
| 8. 緊急被害対策事業 | 松くい虫被害が激甚化した場合の被害木の伐倒駆除等 | 12,977,000 | 12,977,000 |
| 9. コンテナ苗供給拡大体制整備事業 | 花粉の少ないコンテナ苗の支援 | 11,920,000 | 11,920,000 |
| 10. 木質バイオマス活用型再造林推進モデル事業 | 林地残材や風倒木の撤去支援による木質バイオマス利用の促進 | 29,427,000 | 29,427,000 |
| 11. 森林整備労務軽減対策事業 | 早生樹等の造林や、再生利用が困難な荒廃農地等の森林利用等の促進 | 8,000,000 | 6,000,000 |
| 12. 「品種の明確な優良苗木」生産拡大推進事業 | 品種の明確な優良苗木を安定して供給するための採種圃の造成や自家採種圃のDNA分析、露地苗生産施設の支援等 | 68,228,000 | 12,000,000 |
| III 森林を守り育む次代の人づくり | | 111,994,000 | 25,602,000 |
| 1. 森林環境教育関連事業 | | 111,994,000 | 25,602,000 |
| ① 「川南遊学の森」管理運営委託事業 | 「川南遊学の森」の管理及び県民を対象とした森林環境教育の実施 | 6,979,000 | 4,060,000 |
| ② 森林環境教育推進強化事業 | | 18,773,000 | 18,773,000 |
| a 森林環境教育啓発強化事業 | 地域や学校等で取り組む森林環境教育の実践活動への支援 | 15,796,000 | 15,796,000 |
| b 新たな森林環境教育実践事業 | インターネットを活用しリモート化した森林環境教育の実践 | 1,488,000 | 1,488,000 |
| c 「みやざき新巨樹100選」魅力再発見事業 | 木製看板の補修等 | 1,489,000 | 1,489,000 |
| ③ ひなもり台県民ふれあいの森等管理事業 | | 32,576,000 | 116,000 |
| a ひなもり台県民ふれあいの森管理運営委託事業 | 森林・林業に関する研修会等の企画・実施 | 29,805,000 | 79,000 |
| b 諸県県有林共に学ぶ森管理運営委託事業 | 森林・林業に関する研修会等の企画・実施 | 2,771,000 | 37,000 |
| ④ 環境保全普及啓発推進事業 | 個人、家庭、学校及び事業所等を対象とした環境教育や環境保全活動への支援 | 20,591,000 | 2,151,000 |
| ⑤ 環境情報発信強化事業 | HP「みやざきの環境」の運営・管理 | 2,675,000 | 203,000 |
| ⑥ 森とのふれあい施設管理運営事業 | 森林・林業に関する研修会等の企画・実施 | 30,400,000 | 299,000 |
| 合 計 | | 561,575,000 | 409,185,000 |

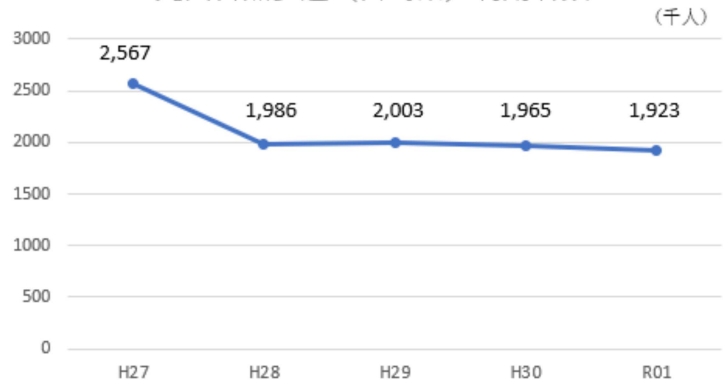
| 事業名 | 九州自然歩道魅力ステップアップ事業 | 新・改・既 | 課名 | 自然環境課 (自然公園室) |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------|----|------------------|
| | | 国庫・ <u>県単</u> | | |
| 1 事業の目的・背景 | | | | |
| <p>自然の大切さや森林の持つ公益的機能を学ぶ魅力ある場として九州自然歩道を活用するため、地域住民等による自然体験プログラム開発への支援、利用環境の整備等を行う。</p> | | | | |
| 2 事業の概要 | | | | |
| (1) 予算額 | 8,000千円 | | | |
| (2) 財源 | 宮崎県森林環境税基金 | | | |
| (3) 事業期間 | 令和3年度～令和5年度 | | | |
| (4) 実施主体 | 地域住民・団体等①、県② | | | |
| (5) 事業内容 | | | | |
| <p>① 歩道利用活動支援事業（補助率 定額） トレッキングコースの設定や森林学習プログラムの開発など、地域住民等による九州自然歩道の利活用活動に対する支援</p> | | | | |
| <p>② 安全安心な環境整備事業 看板や規制ロープの設置、マップ作成など九州自然歩道を安全安心に利用するための環境整備の実施</p> | | | | |
| 3 事業効果 | | | | |
| <p>九州自然歩道の特徴を活かした体験活動を促進することにより、県民の心身のリフレッシュや森林等環境保全への理解が促進されるとともに、観光誘客に寄与する。</p> | | | | |

九州自然歩道魅力ステップアップ事業

【現状と課題】



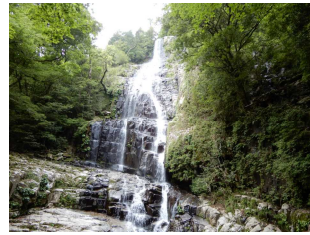
九州自然歩道（宮崎県）利用者数



- 県内14市町を通る372kmのコース（高千穂町（祖母山国観峠）～高原町（高千穂峰））
- 近年の利用者数は、200万人弱で推移
- 整備の行き届いていない区間あり



絶景の眺望



壮大な滝



洗掘された歩道



歩道に倒れた巨木

R2 … 九州自然歩道の全線調査（現状把握、整備方針策定、利用計画策定）

+コロナ影響に伴う社会の変化

- ・アウトドア活動ニーズの高まり
- ・マイクロツーリズムなど、旅行形態の変化 等

→ 九州自然歩道の特長を活かした体験活動を推進

【活動内容例】

①歩道利用活動支援事業（事業主体：地元住民、団体等）

- ・トレッキングコースの設定やツアーの開催
- ・森林学習や健康増進プログラムの開発
- ・先進事例の視察や講習会開催 等

②安全安心な環境整備事業（事業主体：県）

- ・注意看板設置、規制ロープ設置、既存指導標識類の撤去
- ・マップの作成、橋梁点検 等

| | | | | |
|-----|---------------------------|-------|----|------------------|
| 事業名 | みやざきの自然公園満喫プロジェクト 推進事業 | 新・改・既 | 課名 | 自然環境課 (自然公園室) |
| | | 国庫・県単 | | |

1 事業の目的・背景

自然公園への誘客を促進するため、国立公園満喫プロジェクトの取組成果を活かしながら、市町村と連携し、県内の自然公園が県民等にとって魅力的な場として認知されるための取組を推進する。

2 事業の概要

(1) 予算額 4, 511千円

(2) 財源 一般財源：1, 611千円
宮崎県森林環境税基金：2, 900千円

(3) 事業期間 令和3年度～令和5年度

(4) 実施主体 県①②、民間事業者②

(5) 事業内容

① 受入体制整備・強化事業

おもてなし店舗や地元ガイド等を対象とした講習会の開催、国立公園の利用拠点滞在環境上質化に向けた取組等の実施

② 魅力アップ・発信事業

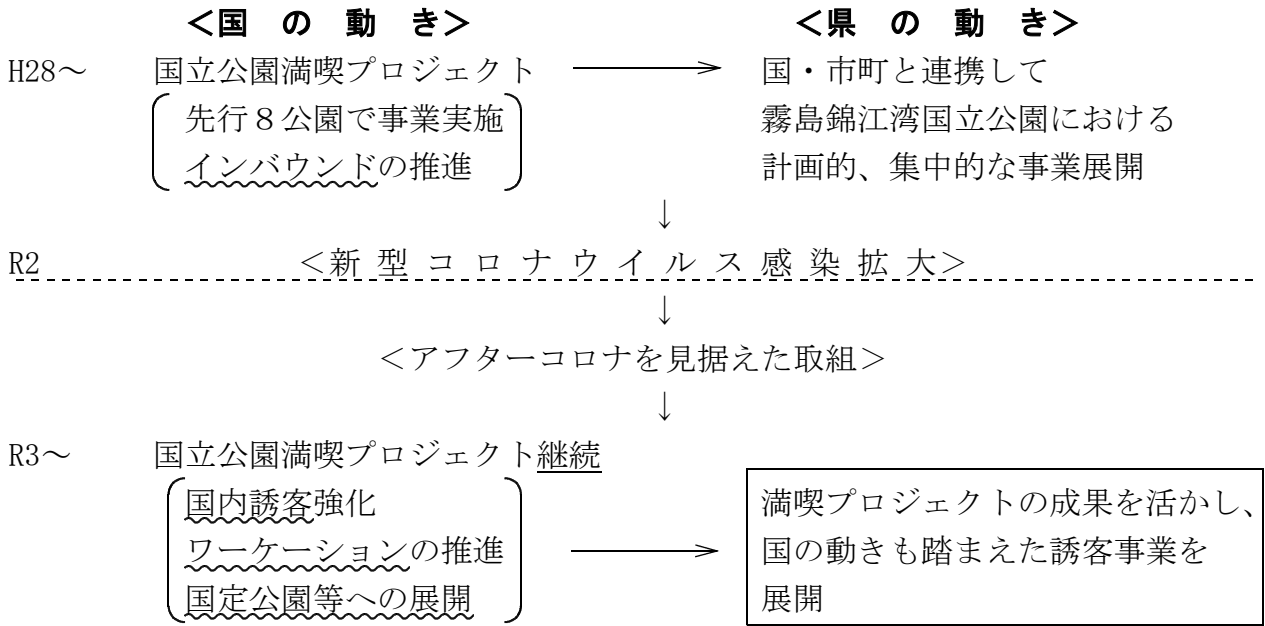
- ・ 民間事業者によるアクティビティを活用した体験型プログラムの造成等に対する支援（補助率 1／2以内）
- ・ 山の日におけるイベント等の開催

3 事業効果

地域と一体となって自然公園の魅力を高めるための取組を実施し、誘客促進を図ることにより、利用者の満足度が高まるほか、長期滞在や再訪が促され、地域経済の活性化につながる。

みやざきの自然公園満喫プロジェクト推進事業

【現状と課題】



【事業内容】

① 受入体制整備・強化事業

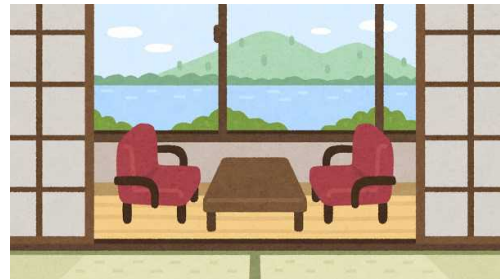
○おもてなし店舗等を対象とした

講習会



○国立公園の

滞在環境上質化に向けた取組



② 魅力アップ・発信事業

○体験型プログラムの造成に対する支援



○山の日におけるイベント等の開催



| | | | | |
|-----|----------------------------------------------|---------------|----|----------|
| 事業名 | 「みやざきの ^{もり} 森林」を活かした ワーケーション推進事業 | 新・改・既 | 課名 | 山村・木材振興課 |
| | | 国庫・ <u>県単</u> | | |

1 事業の目的・背景

森林空間を活用したワーケーションを推進するため、実施地域の体験プログラムの開発等を支援するとともに、体験ツアーに参加する県内外の企業・学校に対して参加費等の支援を行う。

2 事業の概要

(1) 予算額 11,446千円

(2) 財源 森林環境税基金

(3) 事業期間 令和3年度

(4) 事業主体 県

(5) 事業内容

- ① プログラム開発等支援
ワーケーション実施地域に対するプログラムの開発等支援
- ② 体験ツアー支援
ワーケーションに参加する県内外の企業や学校に対する参加費等の支援
- ③ アドバイザー派遣等
アドバイザー派遣や広報活動、研修会の開催

3 事業効果

県内外の企業・学校の「新しい働き方・学び方のスタイル」に対応するとともに、関係人口の創出や就業の場が確保され、地域の活性化が図られる。

「みやざきの森林」を活かしたワーケーション推進事業

【現状と課題】

- 1 地方を中心にワーケーションの取組が進展しており、本県の特徴を活かしたプログラム開発が必要。
- 2 県内外の企業や学校に対する認知度を上げる取組が必要。
- 3 ワーケーションプログラムへの助言やコーディネートを行う人材が必要。

【事業内容及び効果】

民間団体（県から委託）

- ① 実施地域へのアドバイザー派遣（プログラム開発への助言、コーディネート）
- ② 県内外の企業・学校へのプロモーション活動
- ③ 実施地域が参加する研修会の開催

補助金交付
指導・助言

実施地域（市町村等）

プログラムの開発、磨き上げ
ワーケーションの実施

地域の魅力
アップ

県内外の企業・学校

ワーケーションに参加
SNS等による情報発信

○森林空間を活用したワーケーションのプログラム例



木質化された空間でのテレワーク



癒やしの森での森林セラピー体験



林業や木材に関する研修・体験

このほか、山村地域との意見交換や森林空間での体験活動など

「新しい働き方・学び方」への対応とともに、関係人口の創出や就業の場を確保

| | | | | |
|-----|--------------|-------|----|-------|
| 事業名 | 森林整備労務軽減対策事業 | 新・改・既 | 課名 | 森林経営課 |
| | | 国庫・県単 | | |

1 事業の目的・背景

森林整備の労務軽減や山村地域における所得向上を図るため、林業投資の早期回収が期待される早生樹等の造林実証や情報収集、再生利用が困難な荒廃農地等の森林利用の検討、植栽・下刈の省力化の実証などの取組を推進する。

2 事業の概要

(1) 予算額 8,000千円

(2) 財源 宮崎県森林環境税基金：6,000千円
林業担い手対策基金：2,000千円

(3) 事業期間 令和3年度～令和5年度

(4) 実施主体 県

(5) 事業内容

- ① 早生樹・エリートツリーの実証モデル林の設置、育成データの収集、早生樹の用途・販路開拓のための情報収集
- ② 荒廃農地等の有効活用に係る検討会の開催、実証
- ③ 大、中苗のコンテナ苗の生産、植栽の実証、歩掛調査等
- ④ 新たな資材や機械による下刈作業の省力化の実証、歩掛調査等

3 事業効果

既存の農林業就業者の流出防止や伐採事業者等の森林整備への参入等が促進され、担い手不足が深刻な森林整備の人材確保や農山村地域の活性化が図られる。

森林整備労務軽減対策事業

【現状と課題】

林業担い手不足、特に下刈等の重労働作業の担い手不足が深刻



人材確保のため、森林整備の労務軽減や山村地域の所得向上に向けた取組が必要

※県及び県内の事業体では、早生樹の育林マニュアルの作成や下刈作業の省力化等の実証が行われているが、県内での普及が進んでおらず、実用化に向けた実証の加速化が求められている。

【事業内容】

① 早生樹等の実証

- ・実証モデル林の設置、保育施業（下刈・芽かき）の実証、育成データの収集
- ・早生樹の用途・販路開拓に向けた材質試験、情報収集
- ・再生利用が困難な荒廃農地等での早生樹造林等に向けた検討（排水対策、雑草木の除去等の特殊地拵え等）

【チャンチンモドキ(24年生)
(樹高：20m以上)



② コンテナ苗の大苗、中苗化の実証

- ・中苗、大苗生産の実証
(大コンテナへの移し替え等)
- ・中苗、大苗植栽の省力化の実証
(ドローンによる苗木運搬、植穴掘りの機械化等)、下刈期間短縮の検証、歩掛調査等

【コンテナ苗】



(大苗)



(普通苗)

③ 新たな資機材による下刈作業の実証

- ・麻布マット敷設や自走式刈払機の実用化に向けた実証、歩掛調査等



【麻布マット敷設】



【自走式刈払機】

| | | | | |
|-----|----------------------|-------|----|-------|
| 事業名 | 「品種の明確な優良苗木」生産拡大推進事業 | 新・改・既 | 課名 | 森林経営課 |
| | | 国庫・県単 | | |

1 事業の目的・背景

採穂園の造成や自家採穂園等のDNA解析、露地苗、コンテナ苗生産施設の整備支援により、品種が明確で、花粉の少ない優良苗木の安定した需給調整体制を確立するとともに、新たな需要先の確保を図る。

2 事業の概要

(1) 予算額 68,228千円

(2) 財源 国庫：52,527千円 森林環境税基金：12,000千円
一般財源：3,701千円

(3) 事業期間 令和3年度～令和5年度

(4) 実施主体 県、民間事業者等

(5) 事業内容

- ① 県採穂園（花粉症対策苗木、エリートツリー）の造成
- ② 品種の不明確な自家採穂園（母樹）の現況調査、DNA解析等
- ③ コンテナ苗、露地苗の生産施設、特定母樹増殖施設の整備支援（補助率 1/2 以内）
- ④ 花粉症対策スギ等の県外集荷に向けた戦略会議の開催、市場調査等
- ⑤ 県採穂園の維持管理

3 事業効果

品種の明確な優良苗木の生産・出荷拡大により、安定した優良苗木供給体制が整うほか、県外への出荷拡大を見据えた増産体制の確立が図られる。

「品種の明確な優良苗木」生産拡大推進事業

【現状と課題】

- ・苗木生産者の高齢化、後継者不足が深刻なため、高い生産技術を継承できる人材（担い手）の確保が必要である。
- ・エリートツリー苗木の生産目標を令和7年度に50万本とし、そのために必要な母樹約7,000本を確保する必要がある。
- ・県外への出荷拡大を進める上で、品種不明の母樹林（自家採穂園等）の品種の明確化、品種管理体制（トレサビリティー）の強化が必要である。
- ・花粉症対策苗木等の優良苗木の県外出荷拡大をビジネスチャンスと捉え、生産量を拡大し、積極的に売り込むことが必要である。

【事業内容】

①苗木安定供給推進事業

- ・花粉症対策スギ、エリートツリーの穂木の安定確保のための採穂園造成
- ・優良苗木の需給調整会議及び生産技術向上のための技術講習会の開催



【スギ採穂園】



【在来品種（左）とエリートツリー（右）】

②品種の明確な苗木供給体制整備事業

- ・自家採穂園の品種の明確化（DNA解析→母樹認定）
- ・苗木生産のトレサビリティーの体制強化（表示板の設置等）

③苗木生産効率化支援事業

- ・コンテナ苗の生産量及び生産効率の向上のための生産施設等の整備への支援
- ・露地苗の生産量確保のための後継者等を対象とした機械導入（更新）への支援



【スギコンテナ苗生産施設】



【スギ露地苗畑】

④苗木県外販拡大推進事業

- ・花粉症対策スギ（コンテナ苗）の県外出荷拡大に向けた戦略会議の開催
- ・県外苗組等への情報収集、市場調査、販路拡大に係るモデル出荷・苗木提供等